児童に見られるつまずき

　場面の様子について、想像を広げながら読み、文章の内容と自分の経験を結び付けて、自分の考えをまとめることができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　登場人物への手紙を書き、友達と交流する活動を通して、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする

指導事例集ｐ．７３

１　学年・単元名　　第１学年　おはなしのおみせやさんごっこをしよう

『ずうっと，ずっと，大すきだよ』（読むこと）

２　単元の目標

（１）読みたい本を選び，登場人物の行動を中心に想像を広げ，好きなところや中心人物の気持ちを感じながら読むことができる。

　（２）「おすすめカード」を書いて，「おはなしのおみせやさんごっこ」をし，読書の喜びを味わうことができる。

３　本時の目標

「ぼく」になって天国の「エルフ」に手紙を書くことによって，全ての生き物に対する広い愛情の大切さと，それに気付かせてくれた「エルフ」への感謝の思いを想像することができる。

資料：板書

４　学習の展開　**太字：つまずきに対する手立て**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動・主な発問 | 指導上の留意点 | 評価と評価方法 |
| **導**  **入** | ○前時までの学習を振り返る。  １場面から４場面を振り返って，「ぼく」と「エルフ」の関わりとその時の気持ちを思い出しましょう。  ・ぼくたちは，いっしょに大きくなった。  ・エルフとぼくは，まい日いっしょにあそんだ。  ・まいばんねるまえにはかならず，「ずうっと，大すきだよ。」といってやった。  ○学習のめあてをつかむ。  「ぼく」になって今の気持ちを，天国の「エルフ」に手紙を書いて伝えましょう。 | ○１場面から４場面までの「エルフ」の様子の変化と「ぼく」の気持ちについて振り返らせる。  ○「ぼく」と「エルフ」が一緒に過ごした長い時間、「ずうっと，大好きだよ。」と言い続け、「エルフ」を深く愛していたことを振り返らせる。 |  |
| **展**  **開**  **ま**    **と**  **め** | **○「エルフ」の死後の「ぼく」の気持ちを想像して手紙を書き，友だちの意見と比べて，自分の意見を確かに持つ。**  「はじめ」の「ぼく」と「おわり」の「ぼく」の気持ちは変わっているでしょうか。  ・「はじめ」は，「エルフ」だけだったのに，いろんな生き物（馬・ねこ・鳥・亀・蛇…）と一緒にいるよ。  ・「ずうっと大すきだよ。」だったのに「ずうっと，ずっと大すきだよ。」に変わっているよ。  ・「エルフ」のことだけを大切に思っていたけど，今は，他の生き物のことも考えているよ。  ・「ずっと」は他の生き物に対する気持ちなんだ。  ・「エルフ」だけじゃなくて，みんなのことを大切にしなくちゃいけないと気付いたんだ。  「ぼく」になって，「エルフ」に手紙を書きましょう。  ・エルフのおかげで楽しかったよ。エルフ，今までずっとありがとう。  ・エルフ，今までも，今も，これからも，ずうっと大すきだよ。  ・エルフが死んでぼくはどの生き物にも「ずうっと大すきだよ。」と言ってやろうと思うようになったよ。気付かせてくれてありがとう。  ・エルフに，どのいのちも大切だということを教えてもらったよ。だから，ありがとう。  友だちの手紙を読んで自分とくらべましょう。  ・ペア→自由→全体  ・ぼくと大体同じだね。  ・私はこう書いたよ。○○ちゃんとここが違うね。  ・なるほど，そんな気持ちかもしれないね。  ・それいいね。ぼくも書くよ。  ○本時のまとめをする。  〇エルフ，悲しいよ。だけど，エルフと一緒に暮らしたから，どんな生き物にも優しい気持ちで接し，いのちを大切にしなければいけないということが分かったよ。  〇ぼくは，エルフのことを忘れないよ。そして，これからはエルフにも他の生き物にも「ずうっと，大すきだよ。」と言い続けるよ。  〇エルフ，大切なことをぼくに教えてくれてありがとう。 | ○「ぼく」の気持ちの変化に焦点を当てるために，最後の７文を視写させる。  〇題名や主題につながるキーワードに着目させ，どのように変わっているかを考え発表させる。  Ｃへの手だて  「はじめ」（P52・53）と「おわり」（P61）の挿絵を手がかりにして考えさせる。  （ワークシート・発言）  ・素直な感動が表現できるように，お話するように書こうと促す。  〈書くこと〉  自分の読みを自分で明確にとらえさせるために，「エルフ」への手紙という形に書き整理させる。  ・ペアで交流した後，自由に立って多くの友だちと交流させる。  ・考えが変わったら，付け足したり変えたりしてもよいことを伝える。 | 〇教師と同じスピードで，丁寧に間違いなく書くことができる。  （ワークシート）  〇「ぼく」の気持ちが「エルフ」への深い愛から，全ての生き物への広い愛情の大切さに気付いたことを読み取ることができる。  （発言）  〇「ぼく」が成長したのは，「エルフ」のおかげだということまで読み取り，「エルフ」への感謝の気持ちを書くことができる。  （ワークシート）  〇ペアや全体の前で，自分の意見を発表することができる。  （発言） |

５　単元の評価規準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **関心・意欲・態度** | **書く能力** | **読む能力** | **言語についての**  **知識・理解・技能** |
| ○本を紹介し合うことに興味をもち，読みたい本を進んで選ぼうとしている。 | ○物語の好きなところをカードに書き，友達のカードを読んで感想を伝え合っている。 | ○場面の様子や登場人物の行動について想像を広げ，好きなところを見付けながら読んでいる。 | ○本を紹介するときに必要な言葉を理解している。 |

６　準備

ワークシート，挿絵（掲示用），既習学習の掲示物